

ルクセンブルク大公国

Grand Duchy of Luxembourg



面積: 約 2.586 km² (神奈川県とほぼ同じ)

人口: 約 62万6000人 (2020年、統計局)

首都: ルクセンブルク市 (12万2000人、2020年、統計局)

元首: アンリ大公 Grand Duke Henri (2000年10月即位)

政体: 立憲君主制。12のカントン(州)によって構成されています。

宗教: ローマ・カトリック (87%)、そのほか (13%)

言語: ルクセンブルク語、フランス語、ドイツ語が公用語として用いられています。英語も通じます。

通貨: ユーロ。補助通貨単位はセント。

ナショナル・デー: 6月23日

主要産業: 金融業、鉄鋼業、化学工業、機械部品製造などで、近年は金融業への依存を脱するため、IT、バイオ・環境技術、宇宙産業など新しい産業支援にも力を入れており、多くの企業が進出しています。地理的にヨーロッパの主要都市にアクセスしやすいため、物流などロジスティクス産業にも力をいれ、多くの企業がヨーロッパの拠点を築いています。

世界遺産: ルクセンブルク市は1994年に世界遺産に登録されました。

世界無形文化遺産: エヒテルナッハの「踊りの行進」

7世紀の終わりにこの街に修道院を建てた聖ウィリブロードは、ここで亡くなり埋葬されました。彼の墓で奇跡が起こったという噂は多くの巡礼者を集め、15世紀には今のような「踊りの行進」が記録されました。ユネスコの世界無形文化遺産に登録されているこのイベントは毎年聖霊降臨祭の次の火曜日に行われます。

世界記憶遺産: エドワード・スタイケン (1879-1973年) の『ファミリー・オブ・マン』写真展がクレルヴォー城に常設展示されています。

ルクセンブルクの食の楽しみ: ドイツとフランス、ベルギーといずれも独自の料理を育んできた国に囲まれているルクセンブルク、多くの食文化に触発され様々な料理を楽しむことができます。国民1人あたりのミシュランの星は世界一で、フランスやドイツからわざわざ国境を越えて自国の料理を食べに来る人がいるほど、クオリティの高い料理が味わえます。

ルクセンブルクのワイン: ルクセンブルクはおいしいワインの産地としても有名です。南東部、ドイツとの国境を流れるモーゼル川に沿って40km以上もブドウ畑が続き、2000年以上前からワイン造りが行われてきました。リースリングやピノ・グリ種のブドウを使った辛口白ワインが多く、クレマンと呼ばれるスパークリングワインも人気があります。



© 2014 SIP, all rights reserved ルクセンブルク市旧市街



© Visit Luxembourg, all rights reserved ヴィアンデン城



© SIP / YW, all rights reserved 世界無形文化遺産：エヒテルナッハの「踊りの行進」